

## 金沢市協働推進計画 2026 骨子（案）のパブリックコメントにおけるご意見と金沢市の考え方について

- 1 意見募集期間 令和7年11月11日（火）～令和7年12月12日（金）
- 2 募集方法 メール、郵便、ファクシミリまたは窓口へ持参
- 3 意見数 6件（意見者数1人）

No.	ご意見の概要	金沢市の考え方
1	<p>町会加入率の減少や高齢化、共働きの増加が昔に比べて進んでいる一方で、人口は減少しているものの世帯数は増加しており、特に単身世帯が増えている。</p> <p>根強い昭和の考え方が残っており、基本的に育成委員などの活動は女性の仕事になっていて、男性は町会行事やボランティアへの参加経験が少なく、市役所職員であっても参加率が低いのではないかと懸念。</p> <p>町会数が多いものの統合しすぎると災害時の安否確認などが行き届かなくなる問題がある一方で、こうした活動を好む人は一定数存在するものの少数派である。</p> <p>学校関連の委員は、子どもという共通の存在を通じて保護者同士の交流を促進し、地域の習い事も同様にコミュニティが広がるきっかけとなっているが、そもそも町会で何をやっているか、何をすべきか、何ができるのかが分かりにくく不透明であり、結局、時間的に余裕がある引退した高齢者が主に動いている。</p> <p>あくまで活動の主体は市民であり、行政は支援や補助が限界であるとも思う。</p>	<p>骨子案に記載のとおり、少子高齢化の進展やライフスタイルの変化など、市民を取り巻く環境は非常に厳しいものであり、地域コミュニティや市民活動を持続的に活性化させていくためには、これらの課題への対応は避けて通れないものであると考えています。</p> <p>一方で、これまで歴史や文化、風土により育まれてきた金沢独自の地域コミュニティなど、強みを生かした施策についても、ご意見の趣旨を踏まえ、取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>特に、地域活動における担い手につきましては、幅広い世代の可能性ある担い手の発掘・育成や、担い手の組織基盤強化への支援の中で、検討していきたいと考えています。</p>
2	<p>行政は縦割りが多く、他課との連携が薄いイメージがある。知らない間に、違う課が似たようなことを市民に対し実施する、それぞれの課でアプリを開発する、など…。</p> <p>全てのことに言えるが、一元化を進めていった方が、シンプルで、一度に大きな効果を得られるのではないかと懸念。マイナンバーカードに情報を集約させていくような感じ。</p>	<p>情報共有については重要な課題と捉えており、ご意見の趣旨を踏まえ、参考にさせていただきます。</p>

3	<p>あらゆる市民協働関連の団体があるものの、一般の方には知られておらず、きっかけがないと興味もわからない。市民協働に詳しい関係者の意見と実際の町会運営者の意見にズレが生じる可能性がある。</p> <p>子育て世代を軸に働きかけて授業参観や学校行事と連携して生徒や親世代の参加促進を図り、市民協働のきっかけを作って絶対数を増やし裾野を広げるのはどうか。</p> <p>一方で、高齢者に関しては身体的負担や病気がちな理由での参加消極性がみられる。自身が若い時に役員を務めた上の世代の伝統を引き継ぐべきところを文句を言う傾向が見られ、高齢者と地域の子どもの関わりは子育て世代が関わる見守り隊（旗もち）程度にとどまっている可能性がある。</p>	<p>ご意見の趣旨を踏まえ、幅広い世代を対象とした担い手の発掘・育成や、市民の活動事例の収集と発信を行って行く中で、地域活動への参加意識向上を図るような取組を検討していきたいと考えています。</p>
4	<p>そもそも市民の意見をアンケート形式で幅広い世代から吸い上げる必要があるのでは。意見は、高齢者にはチラシでの投げかけである程度回答が集まるかもしれない。</p> <p>学校関係の協力が得られれば生徒数分の意見を吸い上げられる可能性があるため、ターゲットを小学生から大学生や 30～40 歳に絞って意見を集めては。現状の意見収集方法は、高齢者向けの要素が強いと感じられる。</p> <p>ただし、意見を集めるだけのために人を集めるのは難しいため人事課の就職ガイダンス等と連携してついでにアンケートを実施する形も良いのではないか。</p> <p>市役所職員へのボランティア参加促進の実際の参加率や参加理由・不参加理由を年齢や性別などで分析する必要がある。</p>	<p>計画策定にあたり、広く市民を対象とする計画であることから、市内の幅広い世代を無作為抽出して調査しており、市民全体の意識調査として実施しております。調査方法は郵送ですが、回答方法は郵送・電子回答方法を併用しております。</p> <p>個別には担い手別に学生団体や市民活動団体からも意見を集約し、ワークショップなど直接意見聴取の機会も備えながら、計画策定参考とさせていただきます。</p> <p>ご意見の趣旨を踏まえ、次回計画策定準備の際、意見収集手法の参考にさせていただきます。</p>

5	<p>町会への参画促進のためには、役員への報酬や旅行や食事などのご褒美の仕組みなど明確なインセンティブが必要であり、役員だけでなく町会入会者全体に対してもメリットが感じられる対価制度が求められるのでは。</p> <p>たとえば町会加入者限定で交通費が割安になる仕組み（例：山間部やバスの少ない地域で金沢駅まで100円など）を金沢市と交通業界が連携して補助する方法が考えられる。</p> <p>一方で地域活動に対しては、役員の忙しさやお金の管理の負担、町会費の支払いに個人の恩恵を感じにくいこと、共有部分のトラブルや人間関係のストレス、強制参加の行事が嫌がられて関わりを避ける人も多いという現実がある。</p>	ご意見の趣旨を踏まえ、参考にさせていただきます。
6	<p>(1)今年度初めて育成委員を担当。妻が子育てで会議に参加できないこともあったため、私が会議、行事に参加。男性の参加者は皆無。女性にしても、仕事をしている方がほとんどの中で、女性への負担がだいぶ大きいと感じた。</p> <p>行事を経て多くの方と交流、子どもが同じクラス等で繋がりがあると距離が縮まり、以降の関係性もより良好となった。</p> <p>→子どもの繋がりがあると、相手に対し、無下に扱うようなことはほとんどない気がする。育成委員になると行事等で忙しいが、子どもの笑顔を近くで感じる事ができるので、「やってよかった」と感じやすい。</p> <p>(2)私が小学生くらいの頃、地元の祭り、社会体育大会、町会での小旅行など、世帯数が少なかったこともあるのか、同級生や年齢の近い人、その親まで、みんなで参加していた。場合によっては、参加したご褒美としてお菓子の詰め合わせみたいなものをもらっていたことがうれしかった記憶がある。</p> <p>みんなも仲が良かったので、次も参加、と繰り返しているうちに、交流はより深まった。今となってはとてもいい思い出となっているし、地元に戻ったときも顔をみたら自然と話せるくらいのいい関係性を保っている。それは小さい頃のそれらがあったからかと思うので、そういった部分からもヒントを得られるかもしれない。</p>	ご意見の趣旨を踏まえ、参考にさせていただきます。

(注) ご意見については、一部要約して記載しております。